

「市政報告とまちづくり懇談会」 市長・教育長回答要旨

5月23日（木） 東部市民センター

※会の中で紹介した意見と回答をまとめたものです。回答は一部要約しています。

※回答は、市政報告会実施日時点のものであり、現在の状況と異なる場合があります。

番号	1	意見	教員の多忙化について、学校を取り巻く諸課題の中で教員の業務が多忙となっている側面もあると思われる。教員の負担軽減を図る視点から、教育長はどのようなお考えかお伺いしたい。
回答要旨	（教育長） 現状、小規模校においては、児童生徒数も少ないですが、そこに在籍する教員の数も少ないため、1人にかかる負担が大きく、時間的な面だけではなく、様々な面で負担がかかっています。 これを小規模校から適正規模校にすることにより、教員の負担も解消に向かっていくと思います。 また、小規模校であればきめ細かな学科指導ができますが、反面、複数の教員で子どもに目を配ることができず、1人で負担を抱えなければならないという事もあります。課題を抱えている子どもたちへの支援の観点からも、早急に適正規模にしていく必要があると思います。 労務内容等の改善については全国的な問題でありますので、早急に対応していきたいと考えています。		

番号	2	意見	小学校、中学校よりも先に幼稚園、保育園の子ども数が減少すると思いますが、そのあたりはどのように考えていますか。
回答要旨	（市長） 小中学校の児童生徒数はずっと減少傾向でピーク時の約6割まで減少していますが、保育園の子どもは増えており、いまだに待機児童がいて、市内全体としては困っている状況です。さらに保育園・定員を増やさなければならぬ中で、早急に対応して欲しいという強い要望もあり、新たな民間の保育園を募集したり、公立園も新たに改修して広げたりという対応をしています。 そのため、現時点では、減少局面がいつくるのかは見通せない状況であり、今は保育園に預けたいという方々のニーズを満たすため、充実、拡充しています。 将来的には、どこかで保育園についても減らしていくという段階になります。その時は、老朽化した保育園を廃園にしたり、職員の配置をまとめたりして対応することになると思います。保育園の職員についても将来を見越して、計画的に採用しています。 私としては、小中学校の再編という大きな課題とは、少し状況が異なると認識しています。		

番号	3	意見	温水プールを継続するのであれば、小牧市が有名になるような温水プールをぜひ作ってほしい。
回答要旨	(市長) 温水プールについては、解体するとすでに決定をしており、3月の議会で予算をお認めいただき、今年度解体をしていくということですすでに着手しています。継続を望む声を複数いただいていたのですが、費用対効果を考え、慎重に検討した上で今回ご判断をさせていただきました。議会とも議論して、解体という決定をさせていただきましたので、この点についてはご理解をいただきたいです。 健康づくりのために使っておられた方々もありますが、そういったことも踏まえ今後の方向性を検討していきます。		

番号	4	意見	旧桃花台新交通本社跡地の利活用について、例えばふらっとみなみのような、誰でも利用できる施設はどうでしょうか。今後の桃花台地域の高齢化率が、どんどん増えていきますが、市長の考えをお聞かせください。
回答要旨	(市長) 桃花台線ピーチライナーについては、小牧の駅の部分の撤去がほとんど完了しました。複数の箇所、同時進行で撤去工事を愛知県の方で進めています。愛知県の所有する道路構造物ということで、全て愛知県の負担で工事を進めています。 跡地については県が約94%所有しており、小牧市は約6%所有しています。そのため、県が勝手に処分することはできません。県では、早期に売り払うといった議論もありましたが、ピーチライナーがあるということで、桃花台の皆さんの一定のご負担もありましたので、私としては、地元の皆さんに喜んでいただけるような土地利用であるべきだと考え、そういったことを県には常々申し上げているところです。県の方で議論がありましたが、今の段階で具体的なことは申し上げられません。 しかし、いつまでもそのままというわけにはいきません。月極駐車場として使っている方々もいますので、一定は現状を残していく必要があると考えています。今後の利用については、民間の提案をいただきながら整備していくという手法も一般化をしていますので、県や民間のご意見を伺いながら、特に地元の皆さんにも利活用いただけるよう整備を進めていきたいです。 コミュニティセンターというお話がありましたが、東部市民センターもありますので、新たに市の施設を建てるという考えはありません。民間の力を活用しながら、地元の皆さんに喜ばれるような利活用ができないかという観点で検討している状況です。できるだけ、早く進めたいと考えていますのでご理解いただきたいと思います。		

番号	5	意見	農業公園の概要をぜひ教えてください。
回答要旨	(市長) できるだけ整備費用をかけずに、段階的に整備をしていくという方向性で進めていて、メインは貸し出しができる市民菜園や、子どもたちやご家族や様々な市民の皆さんが、収穫体験ができるような畑などの施設を整備しつつ、かなり森を残しながら里山の環境の中で、少しゆったりとくつろいでいただけるような整備を考えています。周辺環境に配慮しながら整備をして、開園後の利用者のニーズにより、さらに広げていかなければいけないということになれば、もう少し畑を広げていくというような、段階的な整備をしていこうということで計画しています。 今は、里山がかなり放置をされてきており、有志の方々に少し手を入れていただいているような状況です。そこを市民の皆さんが楽しんでいただけるような場所にできるよう、農業公園整備を進めていきたいと思っています。		

番号	6	意見	桃花台ニュータウンの活性化のため、カフェを営業できるよう規制緩和をしてほしい。個人事業主を選択する方も増えている中で、そのような方を迎えられるような施策をお願いします。
回答要旨	(市長) 現在、東部振興構想を作成し、ハードだけではなくソフト面も含め、住民の皆さんや大学、企業の皆さんとコラボして活性化していこうとしています。 行政としても、地区計画等の見直しを検討しています。基本的には、桃花台ニュータウンは、住居系の地域として開発整備をしていますので、規制があります。住宅街の中にいきなり騒がしいお店をつくることはできませんが、土地利用の制限を、緩和してほしいというような意見もあります。全国的なニュータウン再生の議論の中で、住居系の地域では活性化が難しいという意見もあります。そのため、基本的には緩和する方向で、議論しています。 しかし、環境が変わりますので、賛否両論あります。総論賛成だが、家の前に店ができるのは嫌などの意見も出てくると思います。なかなか難しい議論ですので、一律で全てを緩和することは難しいと考えていますが、最終的には地区ごとで皆さんの合意形成を図りながら進めていきます。		

番号	7	意見	年齢も重ねて遠くへ出てくのが大変になってきました。移動スーパーができたと聞きましたが上末地区も来てもらえますか。
回答要旨	(市長) 移動販売については、範囲を拡大をしています。どこに移動販売車を停めて営業するのかは、昨年度、ふくし座談会を各地域で開催し、様々なご意見をいただきながら、二百数十ヶ所リストアップしています。 安全に停車できる場所を確保しながら、ルートを決めて移動していきます。全市的に移動販売を行いますので、上末にも行くことになると思います。調整ができた地域から順次、移動販売が開始されています。近日中にご案内ができると思いますので、ご利用ください。		